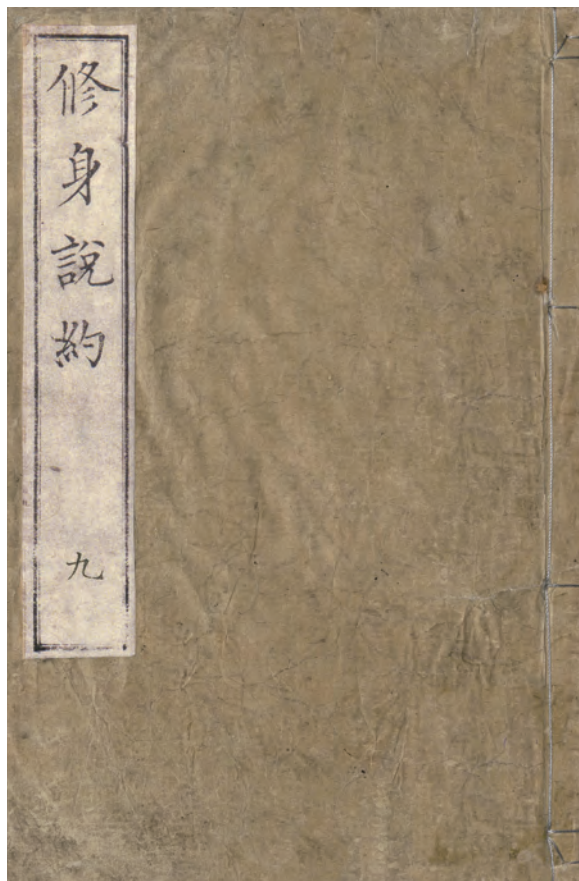


# 修身説約 卷ノ九

復刊版



群馬地域文化振興会

修身說約卷ノ九

木戸 麟 編纂

第一

元弘三年、村上彦四郎義光ハ、其ノ子義隆ト共ニ  
護良親王ニ從ヒ、吉野ノ城ニ在リケルガ、東國ノ  
賊軍四方ヨリ攻メ圍ミテ、城兵多クハ戰死シ、外  
城既敵手ニ陷レリ、親王短兵ヲ以、接戰數合ニシ  
テ、退キテ左右ト酒ヲ酌ミテ、慨歌セリ、義光、鎧上  
ニ矢ノ集ルコト蝟毛ノ如ク、雄姿颯爽トシテ來  
リ、跪キテ曰ハク、賊焰熾盛ニシテ、城支フ可カラ

ズ、臣願ハクハ大  
 王ノ鎧装ヲ賜ノ  
 リ、詭リテ大王ト  
 爲リテ死セン大  
 王間ニ乗ジテ遁  
 レ去レト、護良ノ  
 曰ハク、死セバ則  
 共ニ死セン、何ゾ  
 相棄ツルニ忍ビ  
 ンヤト、義光聞カ



晴  
 斎  
 画

ズ、起チテ自親王ノ鎧ヲ解ケリ、親王已ムコトヲ  
得ズシテ、之ヲ許シ、涙ヲ垂レテ去レリ、義光乃其  
ノ鎧ヲ被テ譙樓ニ登レバ、義隆來リテ、偕ニ死セ  
ントス、義光ノ曰ハク、汝亟ニ去リテ、王ニ從ヒ、其  
ノ後ヲ拒ゲ、徒ニ死スルコト勿レト、義隆泣キテ訣  
レ去レリ、義光遙ニ親王ノ去ルコト遠キヲ見テ、大  
呼シテ敵軍ニ向ヒテ曰ハク、我ハ今上ノ第三子  
護良ナリト、乃腹ヲ劃キ、腸ヲ抽キ、壁ニ擲チテ斃  
レケルニゾ、賊四集シテ、其ノ首ヲ斬リテ去レリ、  
既ノ吉野執行ノ兵五百騎、親王ヲ途ニ遮レリ、義

隆單身留リ鬪ヒテ、數人ヲ斬リ、其ノ身モ十餘創  
ヲ蒙リケルガ、親王ノ去ルコト既遠キコトヲ知  
リケレバ、一叢竹ノ中ニ走リ入リテ自殺セリ、親  
王終ニ免レテ、高野山ニ至ルコトヲ得タリ、義隆  
時ニ年十八ナリ、

第二

蜀漢ノ趙雲字ハ子龍、常山真定ノ人ナリ、蜀帝劉  
備ニ事ヘテ、五虎將軍ノ一人タリ、劉備、曹操ノ軍  
八十三萬ト、荊州ニ戰ヒ、利アラズシテ、北ニ走リ  
ケルトキ、趙雲、劉備ノ家孥ヲ護レテ、之ニ從ヘリ、